

瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第22報 ～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成14年8月26日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Melosira granulata
var. angustissima
(メロシラグラヌラータ)
珪藻綱

細胞の直径は基本種よりもはるかに小さい。殻高は直径の数倍に達する。

動物プランクトン第1優占種



Nauplius
(ノウプリウス)
甲殻類

ケンミジンコ等のミジンコ類の幼生。
中央に円盤状の口を有する。

コメント

植物プランクトンは、メロシラ グラヌラータとその変種アングスティッシマが増加した。オシラトリア カワムラエも引き続き見られた。動物プランクトンは、全体として少なかった。ノープリウス、ハネウデムシの他に、ヤマトヒゲナガケンミジンコ、ゾウミジンコ、オナガミジンコ、ミゾアワムシ等が見られた。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲 殻 類	<i>Nauplius</i>	10

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪 虫 類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	8

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

(2) 植物プランクトン

平成14年8月26日

第22報

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis incerta</i> *	40		
(藍) <i>Anabaena macrospora</i> var. <i>crassa</i> *	1		
(藍) <i>Oscillatoria Kawamurae</i> *	5		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	31		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	150		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	60		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	100		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	32		
(藍) 藍藻綱	46	9.2	98.6
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	211	42.3	0.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	100	20.0	0.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	142	28.5	0.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	499	総体積	1.85E+07
種 類 数	12	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。